

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 ハピネス浜野

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		○祝日や長期休みは2部制を取り入れている ○活動スペースは広く適切である。
	② 職員の配置数は適切である	10		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		○占有部分は少ないが、活動・生活等に分けられるよう様々な工夫をしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		○占有部分は少ないが、活動・生活等に分けられるよう様々な工夫をしている。 ○子どもの発達や活動に合わせて、玩具の入れ替えをしている。 ○日々清潔に過ごせるよう心がけ、活動・休息・午睡ができるような環境設定にしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		○定期的に会議・勉強会・話し合いを保育士全員で行っている。 ○業務を改善する為にも、サイクルを回す必要性があると思う。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		※未記入1
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		※未記入1
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	※未記入3
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		○コロナの為、見合わせているが、オンライン研修を検討している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		○個別支援をもとに、担当者中心にカンファレンスを行っている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		※未記入2
	⑫ 児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移動支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		※未記入3
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		○定期的にカンファレンスを実施し、支援内容を共有し統一化している。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	10		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		○季節のイベントや時期に応じた活動だけでなく、個々に応じた内容を提供している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		○サブリーダー(活動担当)を中心に実施している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		○記録を確実に実施し、その時々で気になることや、疑問を話し合っている。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	○随時実施は可能だが、今年度は実施事例がなかった。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		※未記入2
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1	※未記入1 ○前段階として、受け入れ可能であるか、他職種と情報共有し、慎重に検討している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10		○前段階として、受け入れ可能であるか、他職種と情報共有し、慎重に検討している。
	㉔	移動支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		※未記入2
	㉕	移動支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		※未記入1
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		※未記入3 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	3	※未記入1 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。 ○マチコミメール等で情報は共有している。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	※未記入2 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		○お迎え時、連絡帳や口頭でのやりとりをしている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	8	※未記入1 ○状況に応じ随時家庭支援は行っているが、プログラムによる支援に対応していない。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		○送迎等を活用し、相談・助言支援を行っている。 ○保護者からの相談を共有している。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9	※未記入1 ○コロナ禍と言う事もあり、懇談会等は実施していない。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		○保育士⇄児発管⇄管理者等で情報共有、連携して対応できる体制がある。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		○活動の写真を取り入れ、分かりやすい内容で発信している。 ○ハピネス通信の発行。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している	10		
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4	○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	○保護者への周知は出来ていない。今後の課題とする。
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		○避難訓練を行っている。
	㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10		
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		○調理員や栄養士と連携している。
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		※未記入2 ○報告書は共有している。
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画書に記載している	10		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 ハピネス浜野

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫してる点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			○祝日等希望が多い日は2部制を取り入れている
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			○事業所内外は車椅子で安全に移動できる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1		○保育士間で勉強会や話し合いを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	9			※未記入1 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか	9			※未記入1
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	2	※未記入2
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1		○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			未記入2 ○個別支援をもとに、担当者中心にカンファレンスを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	2		○季節に応じた活動、個別の課題に対する活動等、様々な活動提供。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1		○課題に対する取り組み、支援について評価、振り返りを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			○打ち合わせもするが、温度板を活用して役割や業務内容をいつでも確認出来るようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1		○記録を確実に実施し、その時々で気になることや、疑問を話し合っている。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	1		未記入1
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			※未記入1 ○学校の送迎時、先生からの引継ぎ等を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9			※未記入1

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		※未記入2
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか	8			※未記入2
	㉒	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	1	※未記入3
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	5	※未記入2
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	3	※未記入1
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			○お迎え時、連絡帳や口頭でのやりとりをしている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	3	※未記入1 ○状況に応じ家族支援は行っている。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			○必要に応じて、報告し対応している。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	5	※未記入1
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			○関係者間で情報共有し速やかに対応している。 ○報告は確実に実施している。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			○広報活動(ハピネス通信、掲示板、Facebook)を通し実施している。
	㉜	個人情報の取扱いに十分注意している	10			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		6	○コロナ禍自粛中。コロナ前は積極的に行っていた。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	2	○保護者への周知は出来ていない。今後の課題とする。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		1	
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			○定期的にチェックを行い、研修の実施で防止対策を行っている。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			○調理員、栄養士と連携し確実に対応している。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有しているか	9			※未記入1 ○報告書は共有している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。